

経済学 A

第 1 回：経済学とはどのような学問か

【教科書第 1 章・第 2 章】

北村 友宏

2020 年 7 月 1 日

1 経済学とは

- 社会の資源に限りがあるという性質を希少性（scarcity）という。
- 社会が希少な資源をいかに管理するのかを扱う学問を経済学（economics）という。

2 仮定の役割

- 経済学者が仮定を置く理由：複雑な世界を単純化して、理解しやすくするため。
- 仮定の例
 - ★ 財の価格は必ず需要量や供給量に反応して変化する
 - ★ 財は細かい単位で分割購入できる
- 単純化された架空の世界での現象を理解することで、複雑な現実世界での現象の理解に一步近づく。

3 経済モデル

- 経済モデルの特徴
 - ★ 仮定が置かれ、図や数式でできている。
 - ★ 多くの細部が省略され、重要な部分のみがみれる（経済のすべての特徴を備えているわけではない）。（次回以降の授業で、具体的な経済モデルが登場する。）

4 ミクロ経済学とマクロ経済学

- 家計や企業の意思決定と、特定の市場におけるそれらの相互作用を研究する学問をミクロ経済学（microeconomics）という。
 - ★ 本講義で扱う。
 - ★ 個々の家計・企業、特定の市場を対象とする。

- ★ e.g., ガソリンに税金をかけるとガソリンの需要量・供給量・価格にどのような影響がもたらされるか？
- 経済全体に関わる現象を研究する学問をマクロ経済学（macroeconomics）という。
 - ★ 「経済学 B」で扱う。
 - ★ 一国全体を対象とする。
 - ★ e.g., 日本の失業率の変遷，発展途上国の生活水準を向上させるための経済成長を促進する諸政策
- 両者は独立した研究分野で，それぞれ独自のモデル群を持っている。